

特別講演

光学活性天然物の化学合成 ーフェロモンを中心としてー

フェロモンを中心に光学活性天然物の合成法を解説していただき、それがフェロモン科学にどう貢献したかを紹介していただきます。

日時：平成22年9月11日（土） 15：00～16：30
(質疑応答など17：00まで)

場所：山口大学 吉田キャンパス

農学部 連合獣医棟 4階 大講義室

講師：森 謙治 先生（東京大学名誉教授）

参加費：無料

9月7日（火）までに裏面申込票にてお申し込みください。

講演後、学内の食堂「きらら」にて交流会を行います。

交流会参加費：一般3,000円、学生1,500円

講師の紹介



森謙治氏は、長年にわたり生物活性天然物の合成研究に従事し、これまでに400種を越す天然物および類縁体を含む多数の高純度有機化合物の化学合成に成功するという膨大な成果を得た。それらは、フェロモン、微生物ホルモン、植物ホルモン、昆虫ホルモン、抗生物質等多岐にわたるが、特に生物の成長や生理・生態の制御に必須である多くの微量天然物の合成に世界で初めて成功し、構造決定、分析法の確立等関連化学分野に多大な貢献をした。これらの合成により、天然からは微量にしか得られない生物活性物質を十分に供給することが初めて可能となり、化学のみならず、広く生物学、化学生態学等を中心とする関連諸科学分野に大きく貢献してきた。中でも、フェロモンの合成研究を通じて、構造と生物活性間の相互関係に従来考えられてきた経験則を覆す新しい画期的な概念を構築し、今後化学と生物学の学際的研究が進むべき新しい方向性を示した。（2002年度社団法人有機合成化学協会 有機合成化学特別賞 より抜粋）

当氏は、年間を通して世界各国に講演で招待される多忙の中、いまだに自ら合成研究も行っている。これまで様々な賞を受賞されているが、今年7月には、イタリア化学会よりキラリティメダル賞を受賞されることとなった。今回は、その受賞講演の内容を含め、半世紀にわたって第一線で活躍され続け、その光学活性天然物の合成研究内容の紹介と、大学での研究のあり方や研究に対する想いを語っていただく。

後援：山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構

申し込み先：山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構

TEL:0836-85-9961 FAX:0836-8-9962

E-Mail: yuic@yamaguchi-u.ac.jp

問い合わせ先：山口大学 農学部 生物機能科学科 准教授 赤壁 善彦

TEL:083-933-5851 E-Mail: akakabe@yamaguchi-u.ac.jp

